

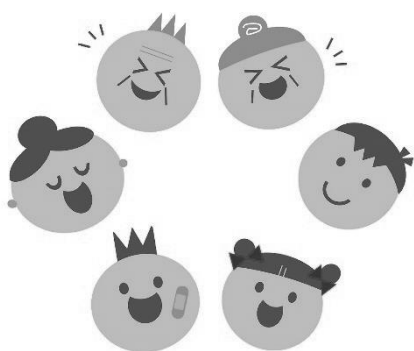
寿都町で活動を続ける二つの市民団体に カンパで感謝と応援の気持ちを伝えよう

寿都町では10月3日に町議選が行われます。

寿都町の議員は9名。2020年に町民による住民投票の直接請求や核ゴミ拒否条例の制定についての議決がされたとき、4対4で賛成・反対が拮抗し、小西議長の判断により住民の願いが断ち切られました。今回の町議選は、その状況がくつがえるのかどうかの選挙です。

片岡町長が条例制定した奇妙な住民投票が行われます

またこの秋にも NUMO が文献調査の報告書を提出すれば、調査が概要調査に進むことを阻止できるのかどうかの正念場がやってきます。片岡町長は住民の請求による住民投票には反対意見を述べながら、投票資格者の「過半数の者の投票により成立する」という奇妙な住民投票条例を成立させました。調査反対の町民は、町民に投票場に足を運んでもらい反対票を投じてもらうための活動を、それぞれの生活を成り立たせながら続けることとなります。



カンパを、そしてカンパ呼びかけを

本来、北海道に核ゴミの処分場を作らせない活動は、北海道民全体で背負うべきものです。しかし実際には、人口2800人の寿都の町民が、一人の首長の独断と国の政策によって、無理矢理この問題を突きつけられているのも事実です。泊・核ゴミ NO! 道連は片岡町長が調査受入れの意思を表明して以来、寿都町で調査受入れ反対の意思を明らかにして活動してきた「脱・肌感覚リコールの会」と「子どもたちに核のゴミのない寿都を! 町民の会」に、感謝と応援の気持ちをこめてカンパを送ることを呼びかけます。ぜひカンパを、そしてカンパ呼びかけを拡げてください。

呼びかけ：泊・核ゴミ NO! 道連

(正式名称：泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会)

メールアドレス : tomarikakugominodoren@gmail.com

電話番号 090-9524-7531 (井上)

寿都町の二つの団体を紹介します。

脱・肌感覚リコールの会

町民が主役である真の寿都町と民主主義を取り戻すことを目的として2020年12月に発足。会の名前は、片岡春雄町長が「肌感覚で町民の賛成はわかる」と、住民投票をせず文献調査に応募したことに抗議してつけられた。「リコールの会」とあるのは、この会が住民投票条例を否決し、核抜き条例を否決した5人の議員（寿都町の議員定数は9人）のリコールをめざしてスタートしたため。リコールをいったん断念した今も「寿都町に民主主義を」の精神は変わらない。その後も寿都町長選で越前谷さんの立候補のために奔走し、町議会議員や見学を希望する住民とNUMO職員が六ヶ所村に行った際、調査に反対する住民を冗談のネタにしたことに抗議して町議会議長とNUMO宛てに質問状を出すなど、粘り強い運動を続けている。共同代表は吉野壽彦、奥野利子、槌谷和幸。



<カンパはこちらへ>

○北海道信用金庫 寿都支店 店番号 106（普通）4201604 口座名 脱・肌感覚リコールの会

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

片岡寿都町長が文献調査受入れの意思を表明した直後に町民695人の署名集めて町長に提出した「寿都に核のゴミはいらない町民の会」から改称。寿都町への核のゴミの受け入れや、受け入れに関係する調査を阻止すること、また、未来ある寿都町をつくることを目的として活動。住民投票条例の直接請求（議会で否決）、議会全員協議会の議事録の情報公開請求（請求が退けられたことに対し、会員二人が原告となり訴訟を起こし、一審で勝訴確定）などを行ってきた。また抗議文、質問書の提出なども精力的に行っている。最近では片岡町長が対馬市議会議長に「文献調査が実施され2年間で20億円の交付金が得られ、地域振興活性化に資する事業に活用することができる」などの意見書を提出したことに対し抗議文を提出している。寿都出身の漫画家、本庄敬さんによる色鮮やかなイラストに彩られた寿都町全戸配布の広報誌は51号目となる。共同代表は南波久、三木信香。

会のHP URLは <http://kakugomi.no.coocan.jp/>

<カンパはこちらへ>

○北海道銀行寿都支店 店番号 304 （普通）0481374

○ゆうちょ銀行 記号：19070 番号：44246811

○郵便振替 00180-3-588608

加入者名 子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会